

令和6年度 西総合支援学校グランドデザイン

学校教育目標

自分に自信をもち、夢や希望に向かって、挑戦する子どもを育てる

～笑顔 あふれる 西総合～

～チャレンジしよう～

めざす姿

子ども像



- ・自分や友達のできること、
- すきなこと、得意なことを見つける子ども
- ・「こうなりたい」「やってみたい」と夢や希望をもつ子ども
- ・友達や教職員と一緒にいろいろなことに挑戦する子ども

学校像



- ・子どもたちが楽しく学ぶ笑顔あふれる学校
- ・子どもや教職員が Well-Being を実感できる学校
- ・保護者や地域から信頼される学校

教職員像



- ・子どもたちの気持ちに寄り添い一人一人を大切にする人
- ・子どもたちの挑戦を見守り、励まし支援する人
- ・チームで語り合い、支え合って仕事をする人

小学部教育目標

好きなことを見つけて、自分から進んで活動する子どもを育てる

- ・いっぱい身体を動かす子ども
- ・自分の好きなことを見つける子ども
- ・できることを活かし、役割に取り組む子ども
- ・自分の思いを自分なりの方法で伝える子ども

中学部教育目標

夢や楽しみを見つけ、笑顔でかかわりを拓げ、思い切ってチャレンジする子どもを育てる

- ・健康で丈夫な心と体を持つ子ども
- ・笑顔を大切に、ひと・こと・ものとのかかわりを拓げる子ども
- ・友達や支援者と一緒に取り組む中で、自分の気持ちを発信し、相手の気持ちをわからうとする子ども
- ・地域や家庭生活の中で、自分の夢や楽しみを見つけ、「できる」自分を信じてチャレンジする子ども

高等部教育目標

なりたい自分の実現に向けて、自ら学び、自信を持って行動する子どもを育てる

- ・社会の一員として活躍するための心と身体の健康づくりに努める
- ・学んだことを活かし、生活の質の向上を目指して、主体的に行動する
- ・夢の実現に向けて、継続的にキャリアアップしようとする
- ・「できる」ことを通じて、社会の一員として自ら役割を担い、自信を持って行動する

学校教育目標やめざす姿を達成するために

受け継ぐ

西総合支援学校が大切にしてきた教育理念



- 児童生徒は、できる状況や手立てがあれば「できる」存在である
- 児童生徒を、地域に生きる一人の生活者として捉える
 - ・子ども自身の志向を育み尊重する
 - ・発達の道筋に沿い、生活年齢を大切にする
 - ・「個別の包括支援プラン」による子どもの「生きる力」と保護者への支援
 - ・実際に生きる地域で学習を展開する

実践する（3年計画3年次）教育課程の創造

専門性向上

- キャリアアップ
 - ・授業力・実践力の向上
 - ・支援の引出しを増やし、自信をもつために
 - ・特別非常勤講師・外部専門家との連携
- 学びたいことが学べる環境
 - ・ニーズやキャリアステージに応じた研修内容
 - ・研修方法の工夫や時間確保

研究推進

- 授業研究
 - ・子どもも大人も一人一人の「できる」のつながり、ひろがり
 - ・12年間の学びのつながり
 - ・教職員同士のコミュニケーション
- 学びの地図
 - ・小・中・高の学びのつながりと見える化
 - ・全教職員で共有と活用
 - ・保護者、地域への発信

風土づくり・組織づくり

- 思いやりのある温かな学校づくり
 - ・安心して自分の良さを生かして働く環境
 - ・互いにフォローしあう関係
- 多様な働き方に応じた組織づくり
 - ・業務量や偏りの改善
 - ・ライフステージに応じた持続可能なシステムの構築

保護者とともに

- ・保護者に寄り添った相談支援
- ・卒業後の生活に向けてともに学ぶ

地域とともに

- ・学校運営協議会との協働
- ・地域と連携した持続可能な学習

信頼される学校づくり

- ・丁寧な相談・支援
- ・総合育成支援教育の拠点
- ・未来へつなぐ環境設定

人権教育の充実

- ・多様性を尊重し、他者をリスペクトする心を育てる取組
- ・自分や友達を大切にする取組



保健・安全・防災教育の充実

- ・子どもたちの主体的な行動の育成
- ・災害や事故、感染症等への対策



子どもの命を守りきる

G I G Aスクール構想推進の取組

継承する（次の10年へ）

西総合支援学校が長期にわたってめざすもの

- 子どもも保護者も教職員も「明日も行きたいくなる学校」に
- Well-Being（身体的・精神的・社会的に満たされた状態）の実現を
- 不易の中から新しい価値を創造し、発信し続ける学校へ
- 地域の総合育成支援教育の中核となる「育支援センター」へ
- 双方向の援助による新たな地域の創造を

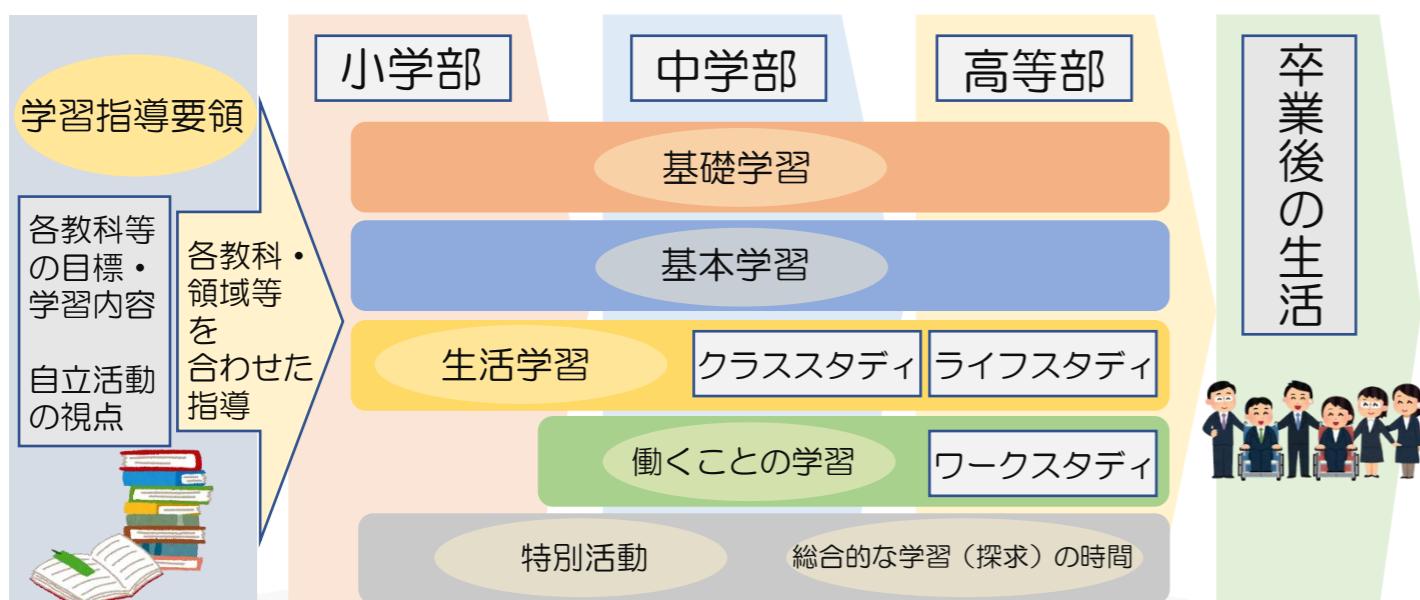


令和6年度 西総合支援学校グランドデザイン

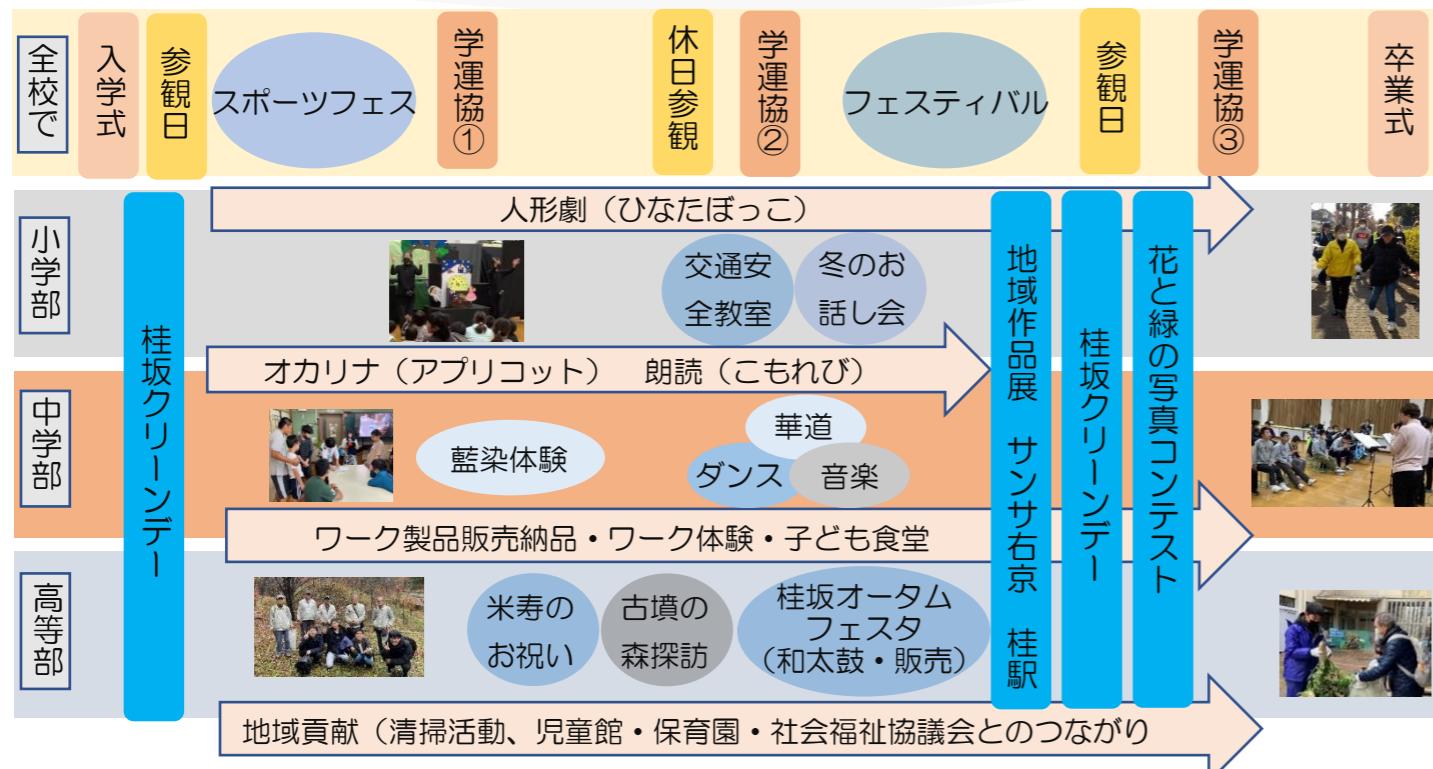
カリキュラムについて

京都市の地域性総合支援学校では、「個別の包括支援プラン」に基づいて一人一人の長期目標や短期目標に沿った学習内容が設定されることから、教育課程を「カリキュラム」という用語を用いて表します。

西総合支援学校では小・中・高12年間の系統性のある学習内容の編成を目指しています。



～社会に開かれた教育課程の実現～ 地域での学び、地域資源を年間計画へ



～12年間の学びの地図～ 授業実践の蓄積と活用

12年間の系統性のある学習活動の展開を目指して

12年間の学びのつながりを可視化するため、小学部、中学部、高等部の学習活動を各教科・領域等のカタゴリにわけて「12年間の学びの地図」にまとめました。各学部・学年・学年間の系統性のある学習活動の展開を目指しています。

授業パッケージ例



小学部



各学部の授業実践

～西総合支援学校の特色のある授業の一例～

高等部



中学部

